

令和6年度第3回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立久米田高等学校
校長名	若林 武志

開催日時	令和7年2月15日(土)10:00~12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、芝野委員、阪本委員、濱口委員、山形委員
出席者(学校)	若林校長、木下教頭、小幡事務長、田戸首席、宮本首席、重野講師、川浪講師
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度第3回学校運営協議会レジュメ</li> <li>・令和6年度学校経営計画及び学校評価</li> <li>・令和7年度学校経営計画(案)</li> <li>・令和6年度久米田高等学校マネージメントシート</li> <li>・令和6年度(2024年度)学校教育自己診断集計結果</li> <li>・令和6年度第2回授業アンケート集計結果</li> <li>・大阪府学校運営協議会の運営に関する要綱の一部改正</li> </ul>
備考	

議題等(次第順)	
・校長挨拶	
・資料確認	
・令和6年度の学校経営計画(進捗状況)	
・令和7年度の学校経営計画(案)	
・令和6年度の久米田高等学校マネージメントシート(進捗状況)	
・令和6年度(2024)学校教育自己診断集計結果	
・令和6年度第2回授業アンケート結果(学校全体)	
・その他	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>《令和6年度学校経営計画および学校評価の進捗状況について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学力向上」では、ICT活用については進めているが、教科を越えた連携が課題である。学力はGTZ(得点により全国生徒の学力をS1~D3の15段階で評価したもの)でB3に位置している。</li> <li>・自主的な活動の推進では、体育祭、文化祭、修学旅行など生徒の満足度はかなり高い。クラブ活動についても、ダンス部や太鼓部など「地域」と関わった活動を積極的に行っている。地域連携では、地域の職業人を招いた講演等を通して、生徒のキャリア教育に活用している。国際交流では、留学生との交流やインドネシアの高校生とのオンライン交流を実施した。</li> <li>・安全で安心な学校づくりでは、近年の生徒の多様化に伴い、通信制高校などの進展もあるが、久米田高校ではインクルーシブ教育など生徒同士の関わりを大切にしている。また、教員向けの研修において、部落差別について学ぶ機会を設定し、人権感覚の涵養に努めている。</li> <li>・目的意識を明確に持った「進路指導」では、夢設計手帳の活用や、総合的な探究の時間で生徒が自分自身の進路について考える機会をしっかりと保障している。総合的な探究の時間に参加している生徒の様子を見ると、きちんと話しを聞き、頑張っており取り組んでいた印象であった。</li> <li>・久米田高校の志望者倍率は凄い。久米田高校に行きたいと考えている中学生は多い。今後は、新たなアドミッション・ポリシー枠の入試も始まる可能性がある状況の中で、どこに重点を置いて運営していくのが重要となる。</li> <li>・久米田高校はいろんな取組みが結果に繋がっている。また、「学校が楽しい」と感じている生徒さんが多い。「楽しい」が学校選びのキーワードの一つになっている。魅力的な学校づくりとその発信が重要である。</li> <li>・大学入試は、受験生の減少や現役志向の増加により、多様な方法で、年内入試での入学者が増加してきている。分析が必要である。今年度、関東のある大学が基礎学力テストでの年内入試を行って、多数の志願者を集めたのが衝撃的であった。</li> <li>・大学によっては、受験科目を増やさずに、入学後に必要な学力のサポートを行うところもある。</li> <li>・年内入試枠の増加に伴い、入学金・授業料等の早期の納付など、保護者にとって経済的な問題もある。また、生徒が自分自身に合った入試方法を理解して選択することが大切になっている。大学情報をより早い時期から伝えていくことが大切になってきている。</li> <li>・広報活動の充実では、今年度の倍率予想では泉州地域で高い倍率を保っている。また学校見学会や説明会なども積極的に行っており、校長ブログも頻繁にUPLしている。</li> <li>・職員の時間外勤務時間の縮減では、本年度は年間を通して、昨年度より短縮されている。</li> <li>・久米田高校の一番の魅力は、学校生活が楽しいと感じている生徒が多いことである。そして進路を保障することが重要となる。久米田高校は、多様な進路があり、なおかつ、生徒が高校生活が楽しいと感じていることが素晴らしい点である。</li> </ul> <p>《令和7年度学校経営計画および学校評価案について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度を基本とし、来年度は海外への語学研修を検討している。また、教員の働き方改革が重要である。</li> </ul> <p>《令和6年度久米田高等学校マネージメントシートについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部では、今後多様な入試動向や進路状況を踏まえて次年度につなげていく。</li> <li>・広報委員では、学校見学会では多くの方に参加していただき、外部への説明会にも積極的に参加した。</li> <li>・教務部では、新しい校務支援システムへの切り替えが終了した。</li> <li>・ICT委員では、新しい校務支援切り替えに伴い、情報の管理の仕方への研修等を行っている。</li> <li>・保健部では、防災をテーマに避難訓練や災害備蓄品に関する授業を行った。</li> <li>・英語科では、ICTを活用した授業を行い、英検の校内実施も本年度は100名を超えた。</li> <li>・第2学年では、今後受験への切り替えを意識した指導を行い、継続していく。</li> <li>・数学科では、基礎を重点的に指導し、そのうえで応用していくように指導した。また、今年度は統計の分野を新しい副読本を用いて指導を行った。その結果、例年よりもスムーズに行うことができ、定着力もよかった。</li> </ul> <p>《令和6年度(2024)学校教育自己診断集計結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行くのが楽しいと感じている割合が高い。授業に関しては知識・技能のみではなく、生徒の社会性を身に付けさせることも大切にしている。</li> </ul> <p>《令和6年度第2回授業アンケート結果(学校全体)について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートに関しては、一定の成果を上げている。</li> </ul> <p>《大阪府学校運営協議会の運営に関する要綱の一部改正について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会でのオンライン出席の活用も可能となった。</li> </ul>	
次回の会議日程	
日時	令和7年6月28日(土)10:00~(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校